

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

IoT × AsReader  Digital Transformation

2025年8月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2025年4月14日



◆本資料には、当社の将来の見通しや計画に関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報や合理的と判断される仮定に基づいておりますが、将来の事象や経済環境の変化により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があります。

◆特に記載がない限り、本資料に記載された財務データは、日本の一般に認められた会計原則に基づいております。

◆当社は、今後の事業環境の変化等により将来の見通しを更新する必要が生じた場合でも、法令や開示規則で求められる場合を除き、本資料の内容を必ずしも修正・更新するものではありません。

第一部：経営環境と当社の動き

第二部：第19期（2025年8月期）第2四半期業績報告

- （1）エグゼクティブサマリー
- （2）第2四半期の業績
- （3）その他トピックス

第三部：その他企業情報

- （1）業績予想修正
- （2）直近のリリース情報
- （3）導入事例
- （4）直近の展示会出展予定



第一部：経営環境と当社の動き

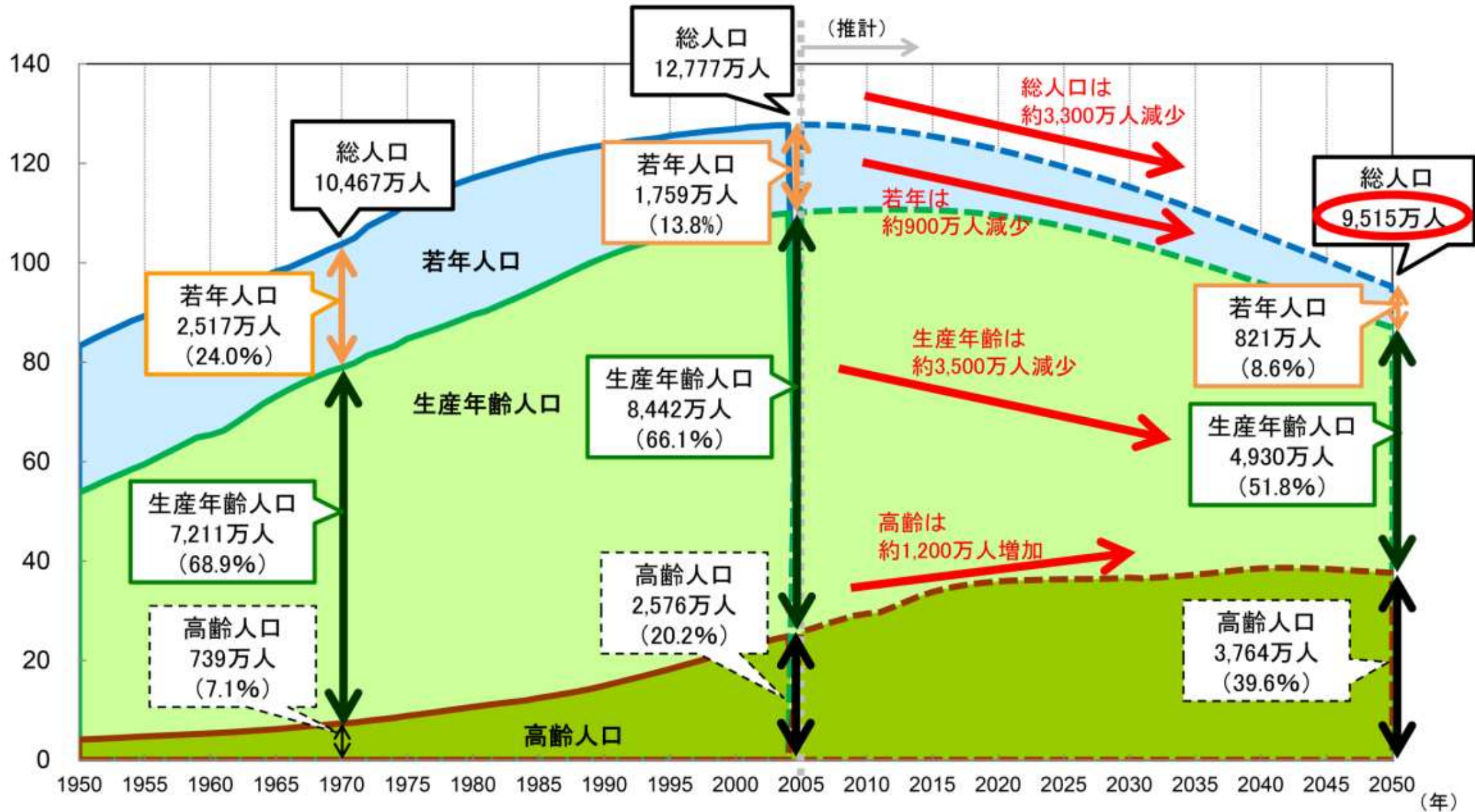


ITを通じて、三方笑顔を創造し、 人類・社会の進歩発展に貢献します。

1. 自己の良心をもって、信頼と安心を築き、三方笑顔を創造します。
2. 早さを追求し、スピードあふれる行動をもって、三方笑顔を創造します。
3. 新しいIT技術、斬新なサービスをもって、三方笑顔を創造します。

人に変わる自動化に貢献して、
人類社会の進歩発展に貢献する

強みは「モノ認識」技術



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要（平成23年2月21日）国土審議会政策部会長期展望委員会

- 1 : バーコードやQRなどを読み取るハンディをモバイル化へ
- 2 : RFIDなどの電波機器を用いた業務効率化
- 3 : スマートフォンを用いた画像認識などの応用利用
- 4 : これら技術を用いた業務用パッケージと、受託開発
- 5 : 新事業、顔認証技術を用いた端末
- 6 : 新事業、Androidでの大型立体デジタルショーケース
- 7 : 新事業、人追跡技術などに特化したAIカメラ
- 8 : 新事業、新しい二次元コード、AsCodeでの業務効率化
- 9 : 新事業、平面リニアモーターでの自動搬送の取り組み

これらの動きについて、当社製品とともにご説明します

1：バーコードやQRなどを 読み取るハンディをモバイル化へ

それは、スマートフォン端末のスペックが業務端末などに比べて優秀だからです。

今までは、業務にあわせて
機器を選定していた



スマホによる 現場DX

対投資効果を最大にする

スマートフォンへ集約する方が効率化



それだけのスペックを
もっているのだから

スマホ性能がPoint!

CPU | コスト | OS | 保守 | 将来性 | 流通性
 |  |  |  |  | 

ベンチマークテスト(処理性能)などの
確認を推奨します。 **ハンディよりスマホがおすすめ!**



国内、海外、大企業様で
続々導入して
いただいています。

流通



物流



製造



医療・介護



海外



その他



超簡単！

- ◆誰でも直観的に操作が可能
慣れたスマホで、研修の必要もありません。

ある催事では、2,000人の短期アルバイトの方の
使用端末をスマートフォンにしたところ
研修時間もゼロで業務の実施が可能に。
それまではマニュアル作成などの事前準備や
研修会の実施などに膨大な時間が…



超便利！

- ◆専用機よりスマホアプリのほうが便利
画面があることで視覚的な操作が可能になったり
さまざまな機能をくみあわせて使えます。

- ・インカムアプリでは
録音や文字起こしの機能が付加され、見直しも可能に！
- ・報告業務では
ある検査業務を行う現場では、スマホで写真を撮り
音声入力でコメントを入力。報告書がその場で完成！



AsReader® DOCK-Type

スマートフォン装着型バーコードリーダー



バーコードの読み取り頻度が
高い方にお勧め

AsReader® CAMERA-Type

スマートフォンのカメラを利用したバーコードリーダー

iOS
Android



バーコードの読み取りが
メインではない方にお勧め

■ スリムリーダー



■ 赤外線通信（自動販売機用）



ASR-060D
・ 赤外線通信



ASR-A60D
・ 赤外線通信

■ 集合充電器
（一式あたり
40台以上充電可能）

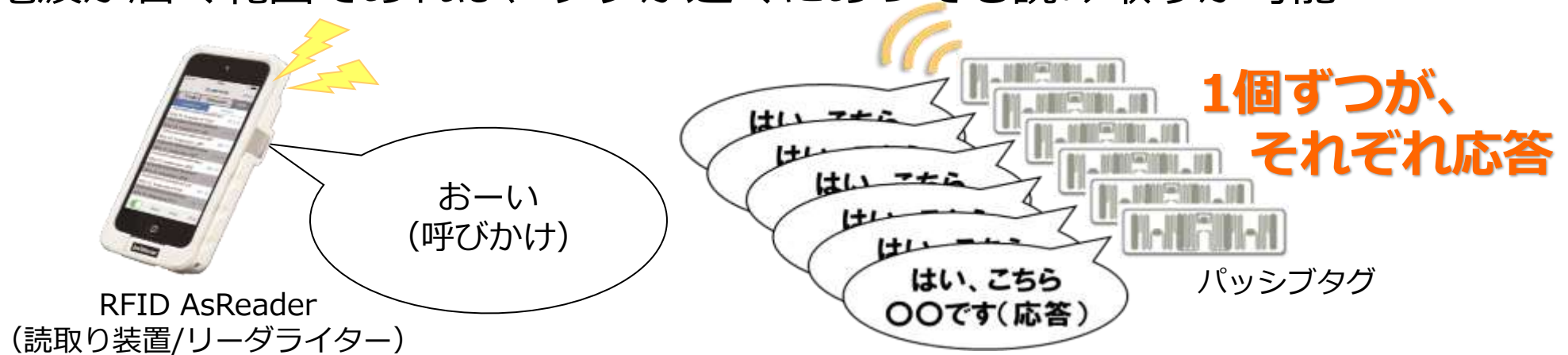


■ 新しいiPhoneや、グーグル、京セラなどの新しいAndroid端末にも対応
業務端末からスマホ化への動きを加速させます

2：RFIDなどの 電波機器を用いた業務効率化

RFIDとは… 「Radio Frequency Identification」 の略

電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム
電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能



あらゆるモノにRFタグがつけられることで、
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。

RFIDは、モノの位置・保管状態・移動の履歴など、
これまでは取得に手間がかかったり、見えなかったものを
可視化する役割を担っています。





簡単!

正確!

確実!

コンパクト

AsKeyCubeで鍵の管理はおまかせ!



As Key Cube

鍵持出返却管理システム



店舗など鍵束管理・
鍵の紛失防止



オフィス・
資料室の鍵管理



社用車の
持出管理



貴重品等の
保管棚管理

■日本の特許

- ・ NIPに譲渡した特許 → 独占的使用権として契約！
- ・ アスタリスクで保有 → 取得済み & 申請中

■中国の特許

- ・ アスタリスクで保有 → 実用新案として取得済

■アメリカの特許

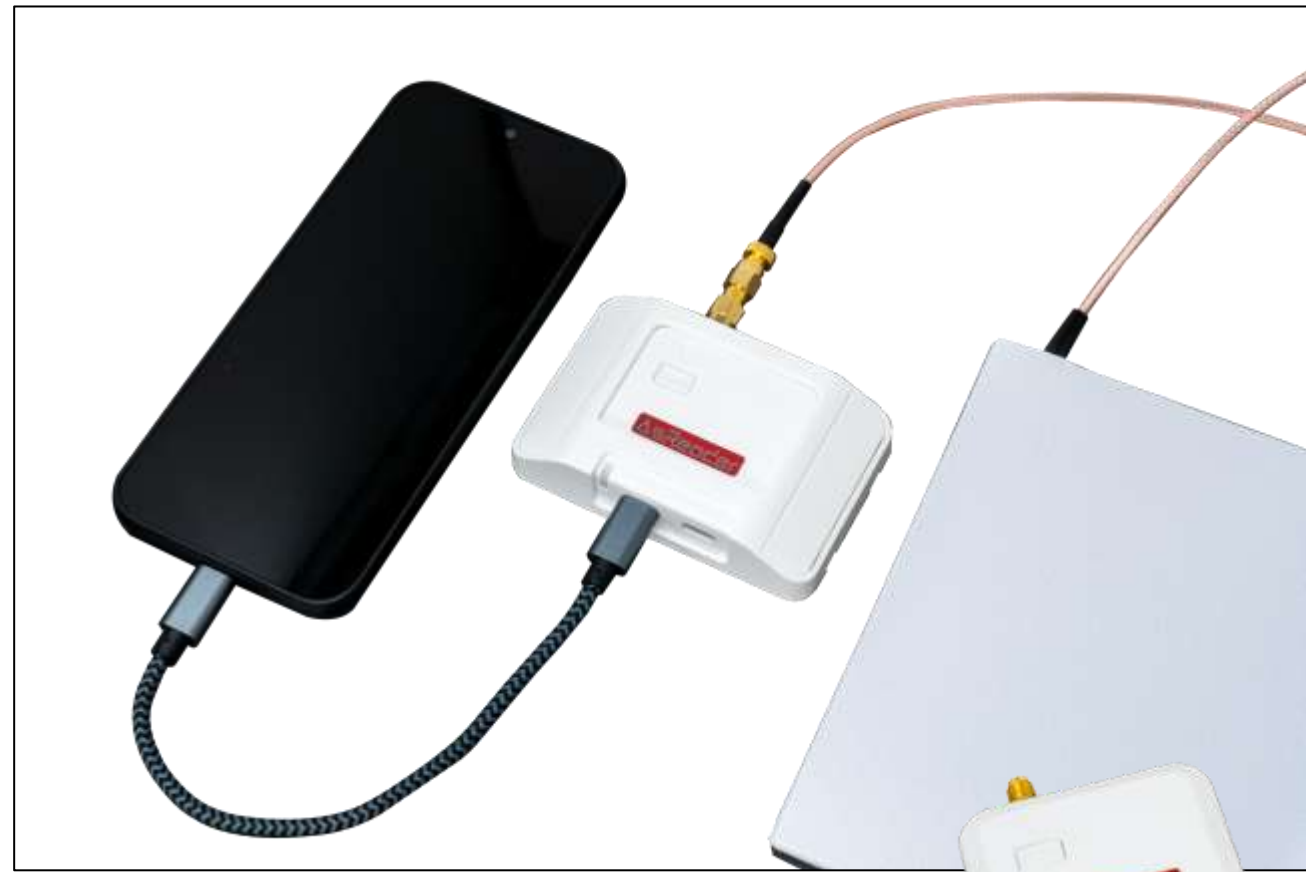
- ・ アスタリスクで保有 → 特許が認可！

■ヨーロッパの特許

- ・ アスタリスクで保有 → 現在申請中

ASR-P37U

・UHF帯RFID



ASR-P35U

・UHF帯RFID



ASR-L251G 円偏波

- 1次元バーコード
- 2次元コード
- UHF帯RFID

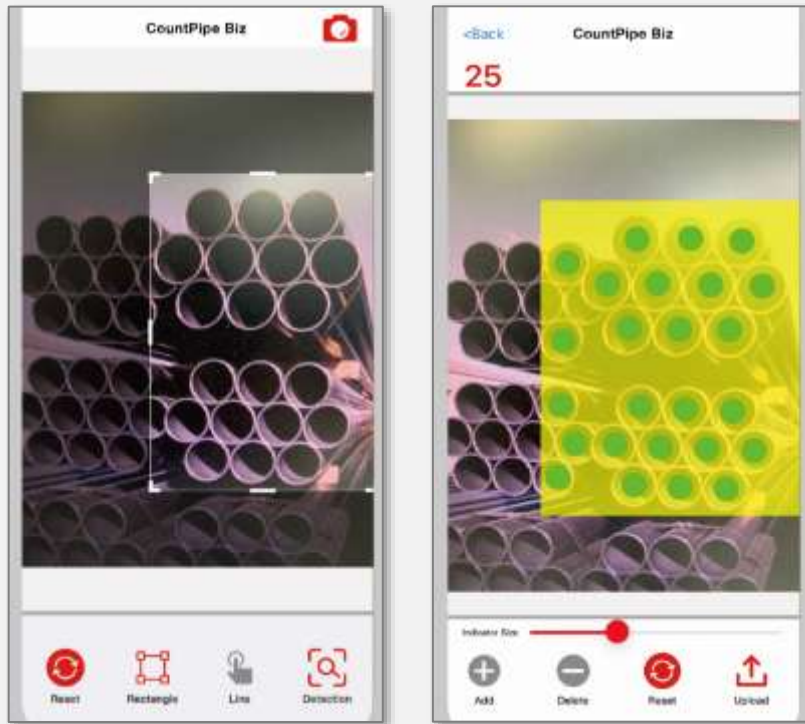


持ちやすさ、最高

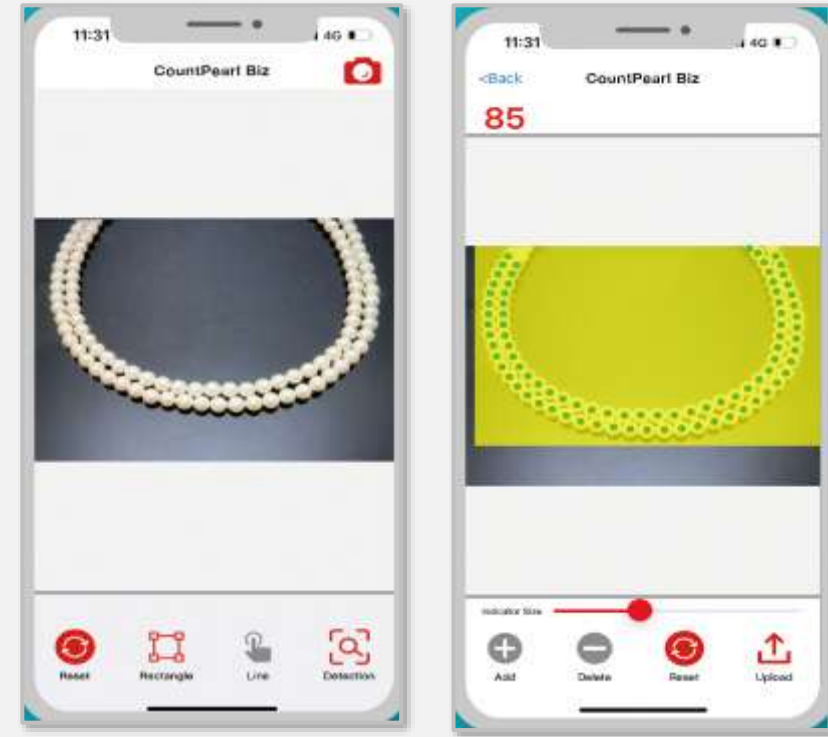
3：スマートフォンを用いた 画像認識などの応用利用

数量カウント

- ① 今まで目視でカウントしていたものが、瞬時にカウントできます
- ② 範囲を指定でき、必要に応じて結果を修正することも可能です
- ③ 対象物にあわせたアプリの開発も可能です



パイプカウント



パールカウント

画像認識アプリで、ヒューマンエラーが0(ゼロ)に!



課題と背景

● 生産されたパイプは、決められた数に結束して納品している。結束前の生産中に、抜き取り検査等でパイプを抜き取ることがある。
これまではそれを現場作業者が計数器で手入力して、最終本数を目視で数えていた。

AsReader ソリューション

● 弊社クラウド型画像認識計数アプリ「CountPipe」を導入。写真を撮るだけで、一瞬でパイプの数を正確に把握。

効果

● アプリ導入後は数え間違いというヒューマンエラーがゼロに。また、計数にかかっていた作業時間がほぼなくなり、業務効率の改善に繋がっている。

賞味期限管理

スマホのカメラを利用し、OCR読み取りや画像認識など、AIを活用し、さらに効率よく業務が出来ます。



在庫管理や出荷時の許容切れ確など、
ミスのない作業をサポートします！

万が一、賞味期限が切れた商品を
読み取った場合は、画面でアラートを出しま
す。

4：これら技術を用いた 業務用パッケージと、受託開発

賞味期限 管理

スマホカメラのOCRによる賞味期限管理で検品精度が劇的改善！
「期限徹底管理」「作業工数削減」「フードロス削減」
を実現します！

- ① スマホのカメラを利用し、賞味期限をOCRで読み取ります
- ② AIを活用することで、さまざまな表示形式に対応できます
- ③ 万が一、賞味期限切れの商品場合は、画面にアラートが表示されます
- ④ 循環式方式で従来の作業時間の8割が削減可能
- ⑤ スマホでの作業なので、直感的、簡易に作業できます。

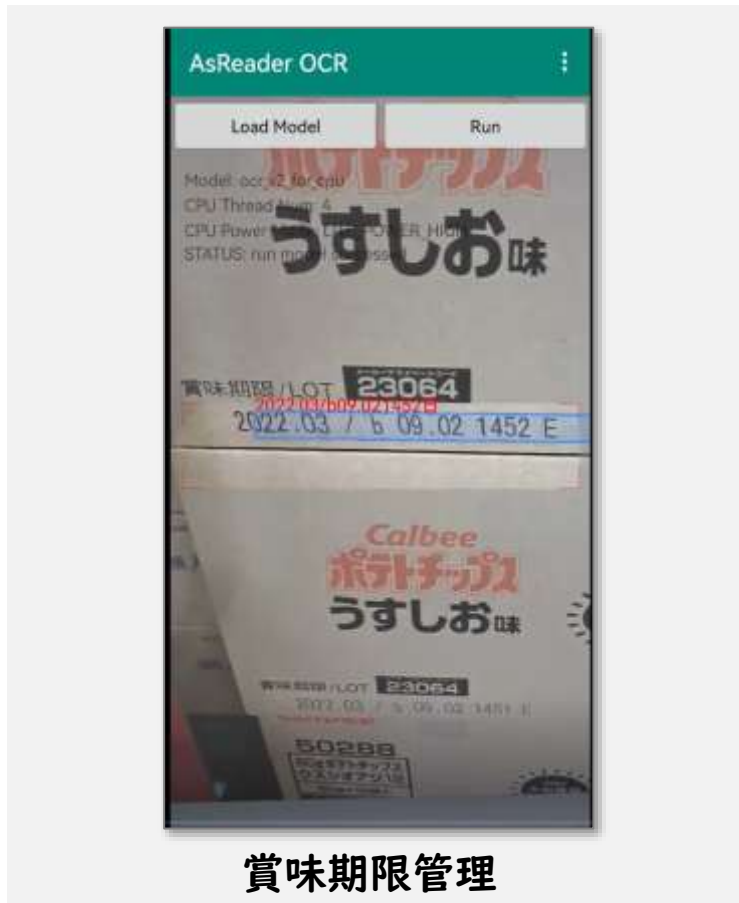


バーコードと
賞味期限を1台で読み取り



文字読取 (OCR)

- ① スマートフォンのカメラで撮影した文字・数字をテキスト化します
- ② 独自の解析技術を用い、高速かつ正確に認識できます。
- ③ 在庫管理や出荷時の許容切れ確認など、ミスのない作業をサポートします！



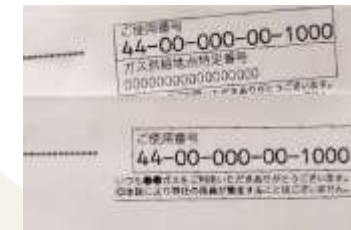
賞味期限管理

例えばこんな活用も！

マイナンバーカード



伝票番号



製造番号



前捌き

前捌き端末でレジの行列を解消します！

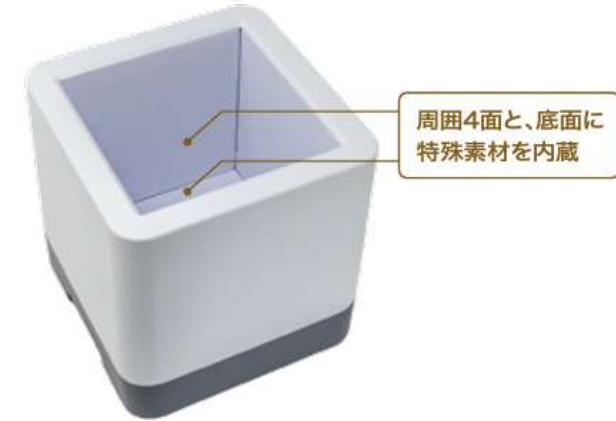
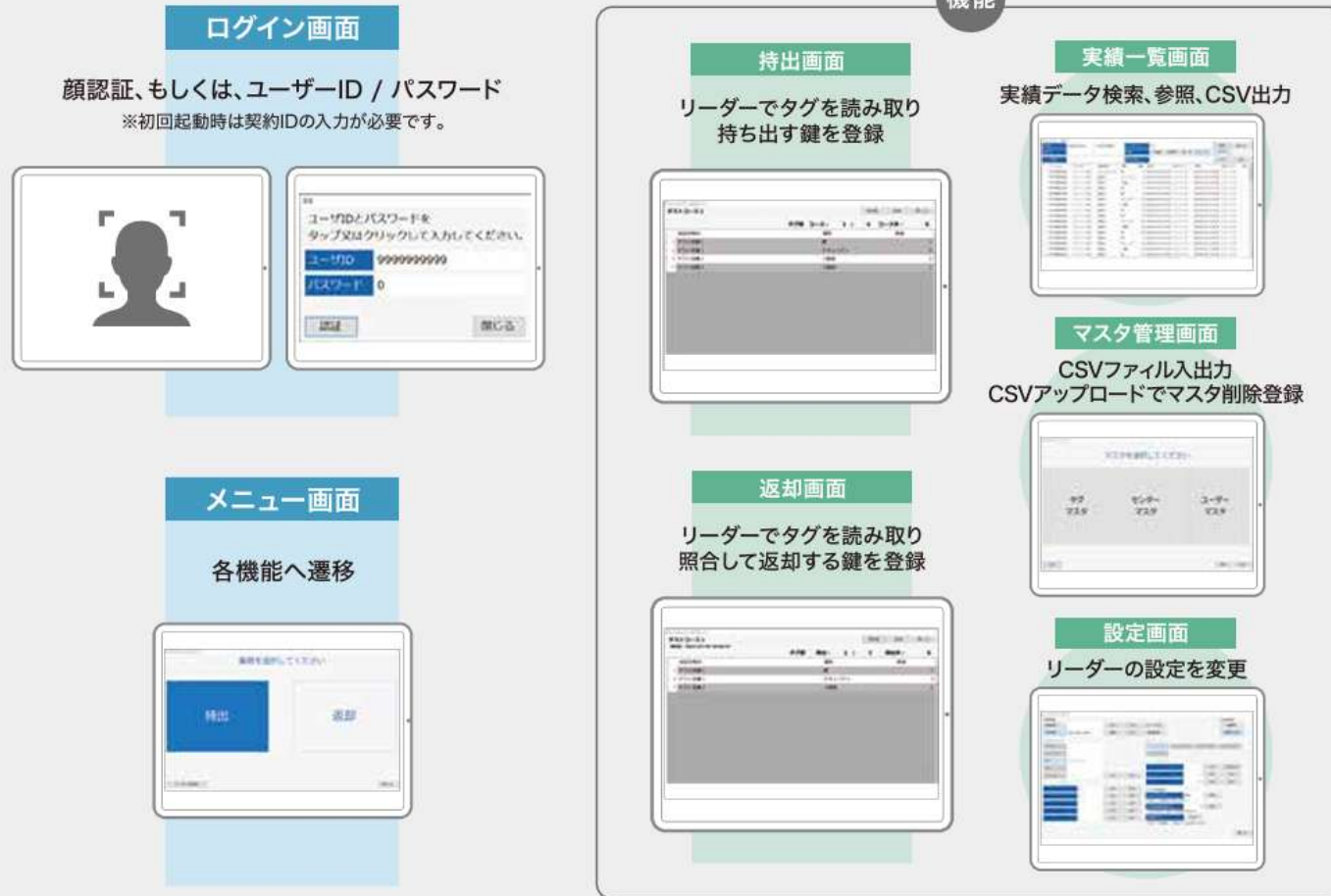
- ① レジ待ちのお客様の商品を読み取り、POSへ連携できます
- ② POSではQRコードを読むだけですので、大幅に時間が短縮されます
- ③ 繁忙期や込み合う時間帯など、状況に応じて対応することができます



読み取った内容を
1つのQRコードへ



アプリケーション(画面イメージ)



顔認証と組み合わせることで不正持出、成りすましを防ぐ。

鍵の利用状況の管理が可能。
履歴を追うことも可能。

電波を吸収する特殊素材を内蔵したAsReader Cube使用で、一括読み取り可能。

5：新事業 顔認証技術を用いた端末



顔認証端末を開発し発売開始

顔認証は、端末のログインから入退場管理、
決裁、会員証とそのポイント管理まで、
幅広い用途で活躍しています。
安心の「未来」を「今」体感してください。
新しい時代のスタンダードを、顔認証が切り拓きます。



手軽に使えて高セキュリティ、
顔認証が提供する次世代のスタンダード



自宅で!



会社で!



イベントで!



ホテルで!



ロッカーで!



接続方法

接点信号	<ul style="list-style-type: none"> ●電気錠、電磁錠、自動ドアでの接続 ●A接点、B接点、C接点に対応 
RS485 Wiegand	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッカー(複数ドア)、金庫、カードリーダーなどの別システム 
スマートロック セサミ	<ul style="list-style-type: none"> ●ほぼ全てのサムターンに対応した後付けのスマートロック 

給電: ACアダプタ (DC12V 2A) ・PoE / ネットワーク: WiFi・有線

電磁錠・電子錠など

自動ドアや電磁錠・電子錠との連携が可能です。リレー装置により接点信号にて解錠します。

- 電気錠、電磁錠、自動ドアなど、接点渡しでの連携が可能
- 解錠データは、他システム連携なども可能 (例: 勤怠管理など)
- Android OS搭載により、鍵の施解錠だけでなく様々な業務への転用も可能
- 鍵の施解錠だけでなく、POSなどの他サービスとの連携も可能 (特許取得済)
- メール等でのお知らせ機能付き

スマートロック・セサミと標準連携

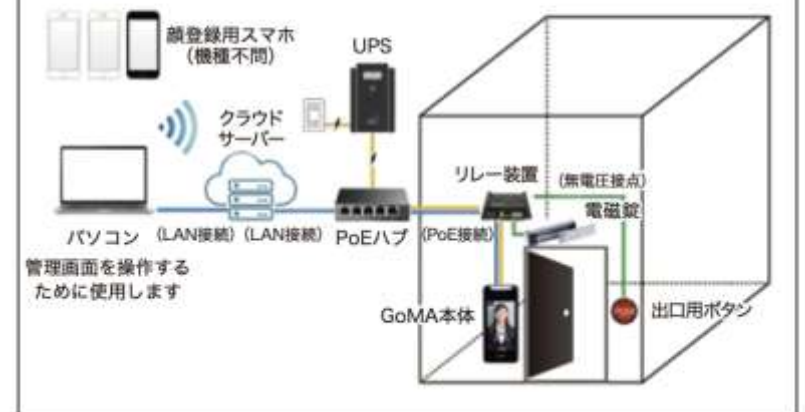


顔登録は、自分のスマホからでき、認証装置は玄関ドアや壁に簡単に取り付けられます。物理的な鍵を使わないので、両手が塞がっていて鍵が取り出せなかったり、鍵をなくすこともありません。スマートロック SESAMEと顔認証で、既存のドアがスマートドアに生まれ変わります。

オプションのオープンセンサー、CANDY HOUSE Remoteなど、様々なオプションと組み合わせ自由。



全体構成図



6：新事業 Androidでの 大型立体デジタルショーケース

革新的で新しい見せ方／より効果的な商品アピールと顧客体験の向上

① 新しい商品・人の見せ方

これまでにない方法で商品や人を展示することにより、話題性を喚起し、来店機会の増加を図ります。
これにより、売上拡大が期待されます。

② 立体感のある展示

立体的な表現が可能となり、お客様はあたかも目の前で実物を見ているかのような感覚を味わえます。

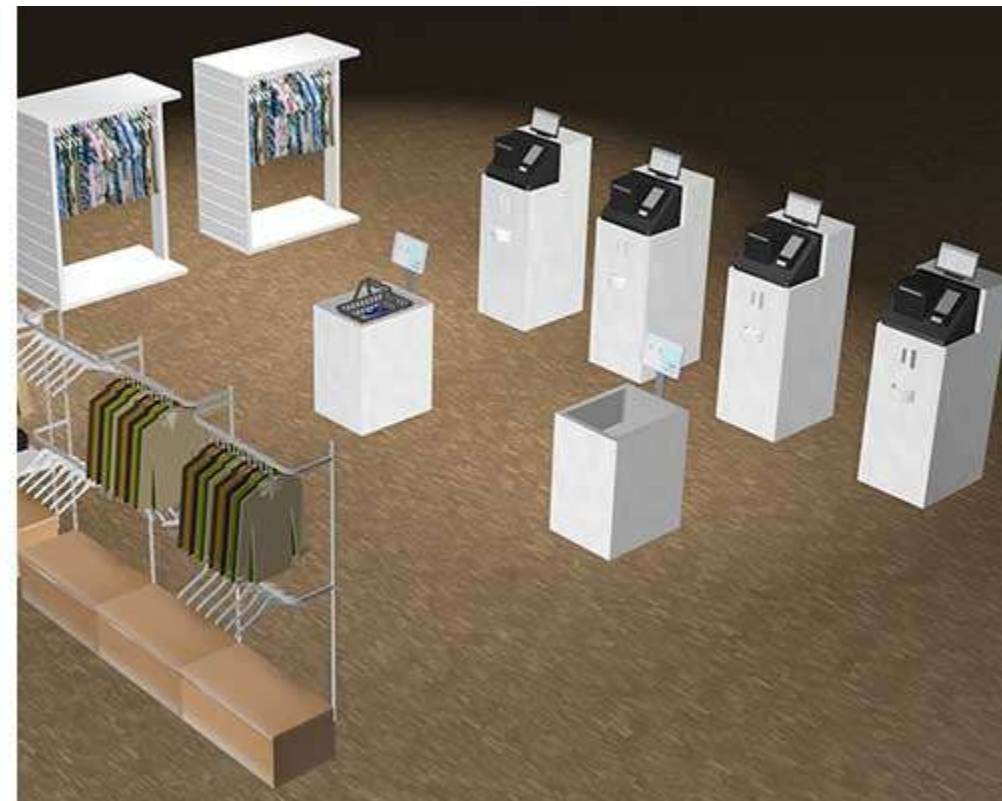
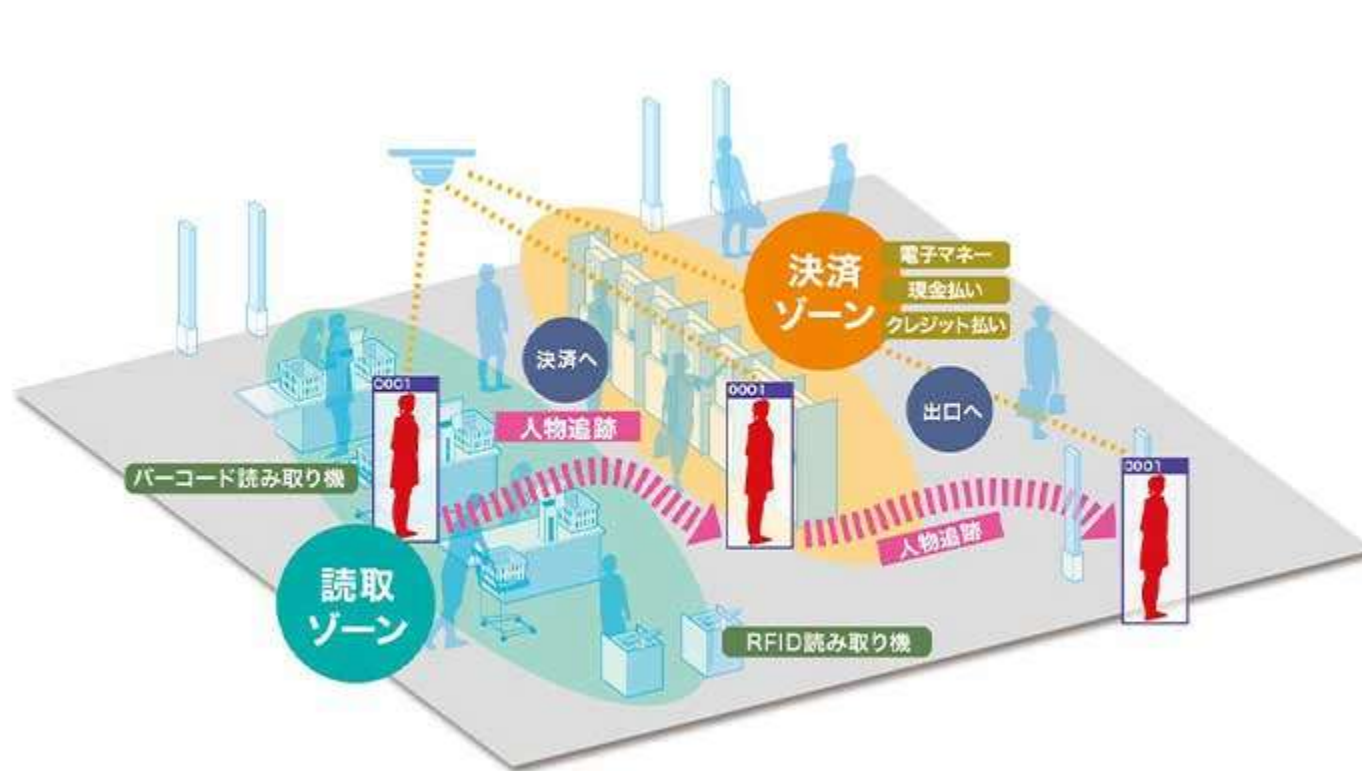
③ 透明ショーケースとのコラボレーション

透明ショーケースを活用することで、実物と映像を組み合わせた展示が可能。より魅力的な商品アピールを実現。



7：新事業 人追跡技術などに特化したAIカメラ

人追跡カメラを活用したセミセルフレジシステム



人追跡技術により、その人の会計を紐づけることが可能

さらに、入退室の管理には

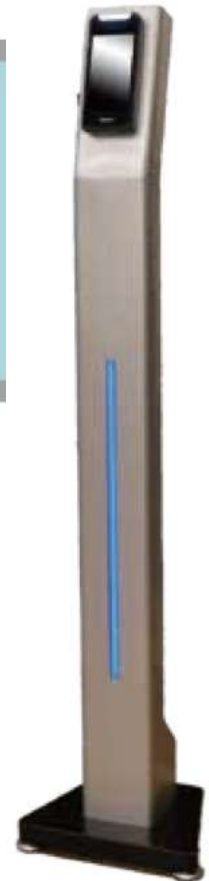
ゲートがなくても
不審者を逃さない

顔認証と人追跡により、ゲートがなくても警告ランプが知らせて、不審者を見逃しません。

顔認証 (GoMA) + 人物追跡 + 警報システム (警告ランプ)

鍵としてだけでなく、ビルや通用口の
入退場管理としての利用!

人物追跡カメラとの連動により
セキュリティの向上を実現



人追跡技術と認証技術を融合することにより、
入室した人についていく人（いわゆる共連れ）を
防止させます

AIカメラについても、引き続き研究開発中であり、
今後に製品化を目指したいと考えています

8：新事業

新しい二次元コード

AsCodeでの業務効率化



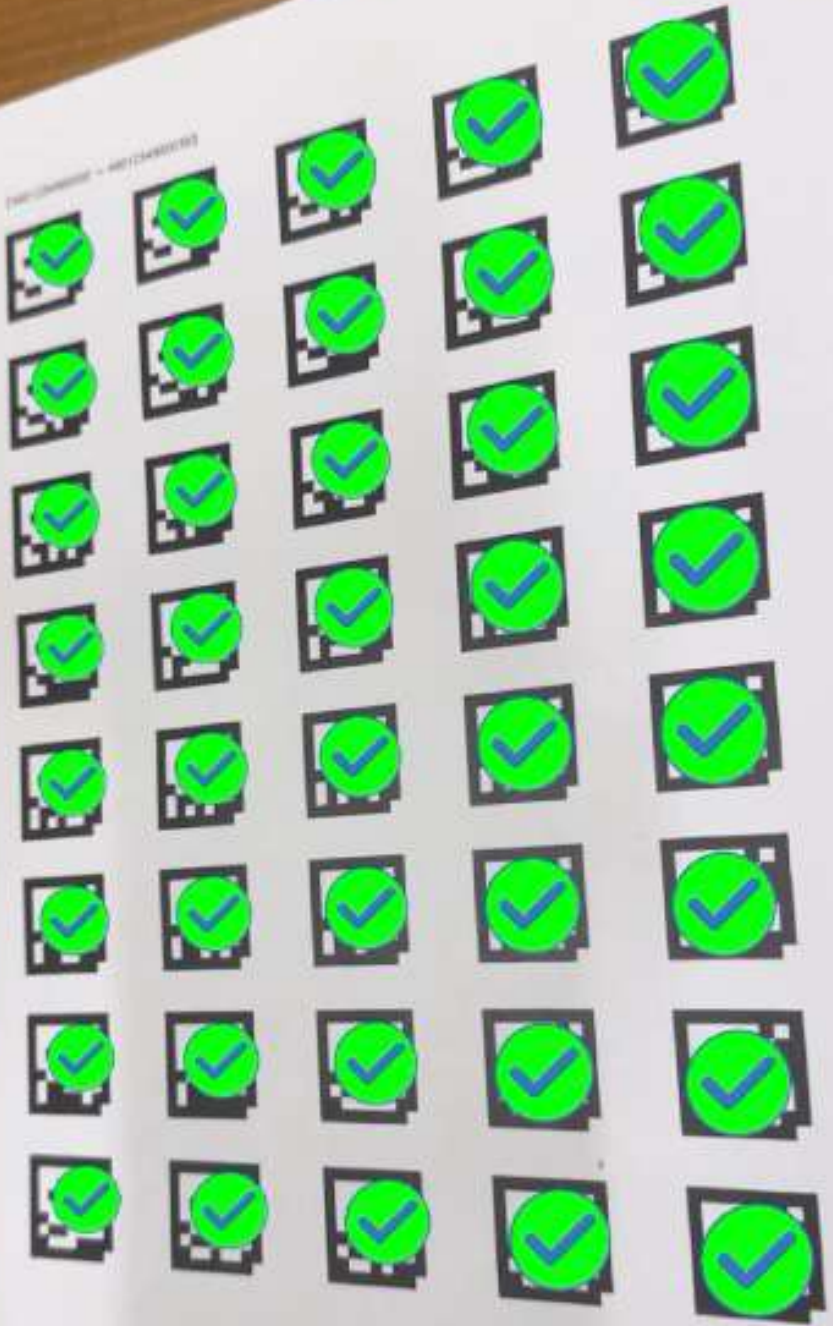
AsCode

大量一括読み

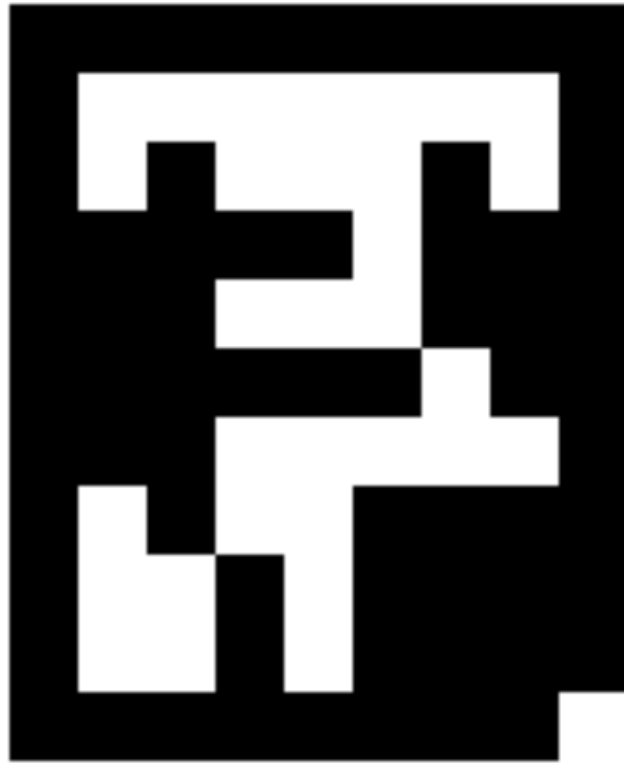
スマートフォンの
カメラで

「AsCode」は、現代の情報管理および流通に革命をもたらし、
効率的なデータ管理を実現する新しい二次元コードです。

Handwritten text at the top of the page, possibly a title or header.



同じ13桁のコードを、AsCodeにするのと、QRコード(※)にするのとでの対比

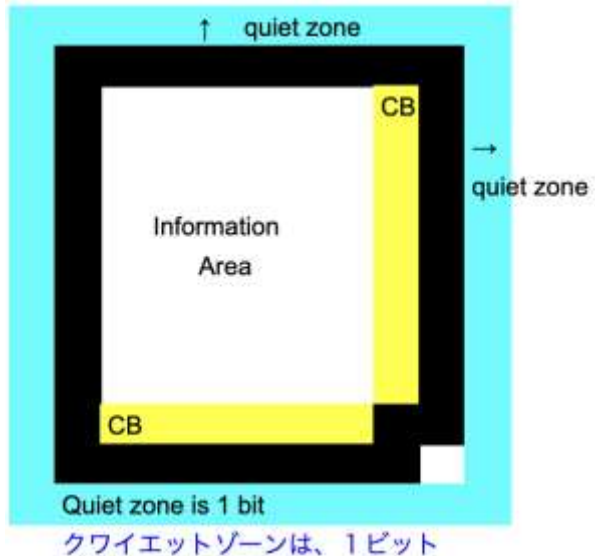


※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

これだけの画像の「粗さ」で表現できるから、
スマートフォンのカメラで読みやすい
(カメラが認識しやすいコード)

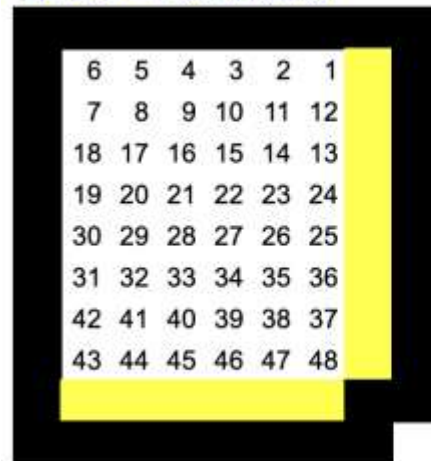
様々な仕様をもちこみ、標準化を目指す

■ チェックビット仕様

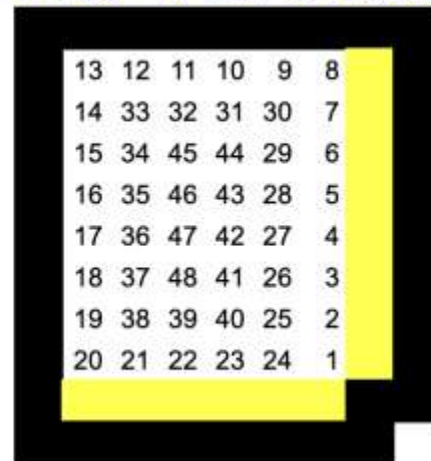


■ 複雑化の仕様

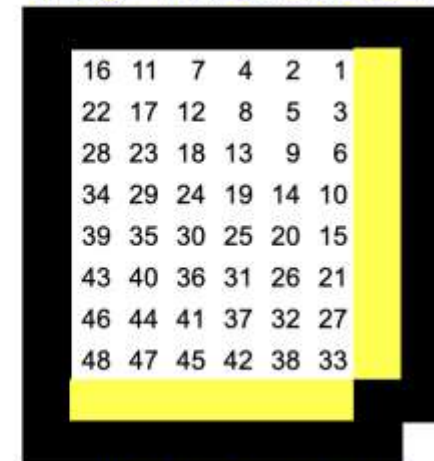
右上スタート、左右、Z順



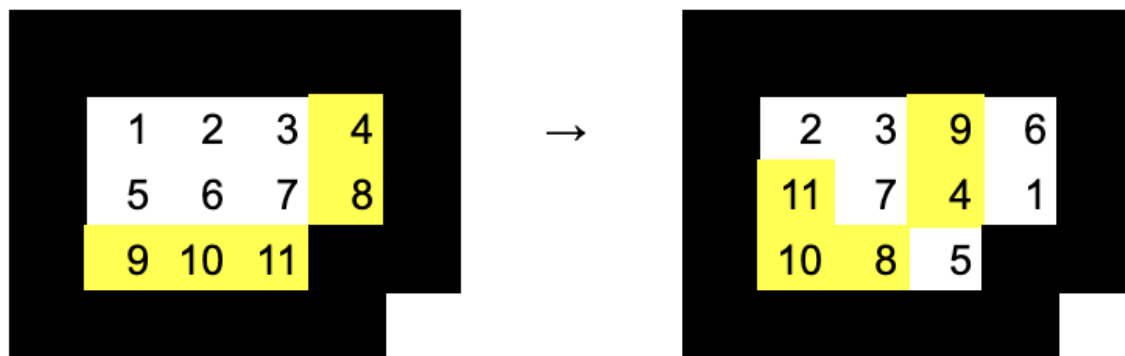
右下スタート、上下、スパイラル順



右上スタート、左右、カウンター順

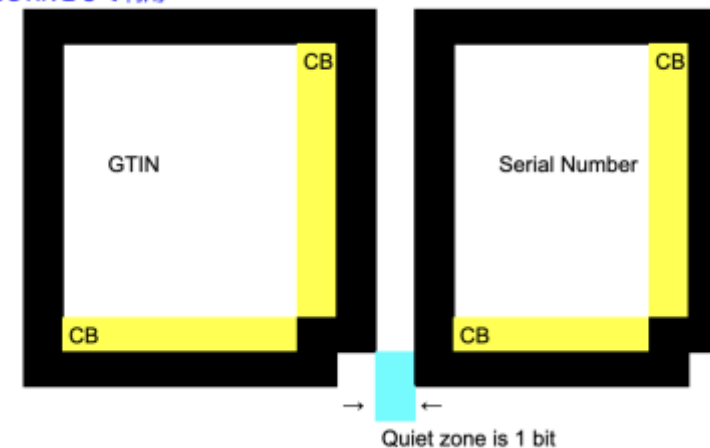


■ 暗号化の仕様



■ ペア利用の仕様

SGTINとして利用



- 医療器具の個体管理
- 図書館での本探し
- 入退場管理
- 物流での利用
- スーパーマーケットなどでも



9：新事業

平面リニアモーターでの 自動搬送の取り組み

リニアモーター技術を活用した搬送システム HAKOBU



商品名：AsReader HAKOBU（アズリーダーハコブ）

商品の概要：リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と荷物などの物品を搬送するための「トレー部」とで構成されます。コントローラは、基盤部に配置したそれぞれのコイルを制御することによりトレー部を稼働させます。

基盤部の特徴：リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。搬送するためのトレーは電源などをもたないため充電の必要性なども全くなく縦横に加え回転運動をすることが特徴であり、かつ複数を同時コントロールが可能です。

- 1 : バーコードやQRなどを読み取るハンディをモバイル化へ
- 2 : RFIDなどの電波機器を用いた業務効率化
- 3 : スマートフォンを用いた画像認識などの応用利用
- 4 : これら技術を用いた業務用パッケージと、受託開発
- 5 : 新事業、顔認証技術を用いた端末
- 6 : 新事業、Androidでの大型立体デジタルショーケース
- 7 : 新事業、人追跡技術などに特化したAIカメラ
- 8 : 新事業、新しい二次元コード、AsCodeでの業務効率化
- 9 : 新事業、平面リニアモーターでの自動搬送の取り組み

第二部：第19期（2025年8月期）第2四半期業績報告



(1) エグゼクティブサマリー



2025年8月期 第2四半期業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	純資産	自己資本比率
875 百万円	-15 百万円	-18 百万円	-23 百万円	1,782 百万円	62.8 %
(前年同期比 +32.8%)	(前年同期 -160百万円)	(前年同期 -121百万円)	(前年同期 -197百万円)	(前期末 1,539百万円)	(前期末 57.9%)

- AsReader事業の売上高は、日本国内619百万円（前年同期比+24.8%）、米国99百万円（前年同期比+278.3%）。前年同期比で増収となりました。
- システムインテグレーション事業の売上高は、145百万円（前年同期比+12.7%）となり、前年同期比で増収となりました。
- その結果、前年同期比では日本国内・米国の両市場において増収・増益を達成、日本国内は黒字化を達成し業績は回復傾向にあるものの、2024年10月15日公表の第2四半期連結業績予想数値には届かず、当初の計画に対して売上高は284百万円の未達、営業利益は35百万円の未達となりました。
- 2025年1月6日及び7日に新株予約権の権利行使、合計242百万円の払い込みをいただいております。この結果、前期末比で純資産が243百万円増加、自己資本比率が4.9%改善。

主要な数値情報：地域別売上高

日本	アメリカ	その他
770 百万円	99 百万円	5 百万円
(前年同期比 +23.1%)	(前年同期比 +278.3%)	(前年同期比 -17.4%)

- 日本市場では前年同期比+23.1%の増収、米国市場では前年同期比+278.3%の増収を達成し、両市場とも増収・増益を実現しました。
- 2025年8月期第2四半期末時点で、日本と米国の両市場において前年同期比で増収・増益を達成し、日本市場では黒字化を実現。しかしながら、2024年10月15日公表の業績見直しには届かず、現状を踏まえた結果、通期業績見直しの見直し（下方修正）を実施することを決定しました。

2025年8月期 通期業績見直しの修正

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,200 百万円	50 百万円	15 百万円
(当初計画比 -19.1%)	(当初計画比 -77.7%)	(当初計画比 -85.0%)

- 業績見直し修正の要因
米国市場：売上高280百万円の減少。営業利益120百万円の悪化。
日本市場：売上高242百万円の減少。営業利益30百万円の悪化。
- 修正後の業績見直し
売上高：2024年10月15日公表の業績見直し比519百万円減（▲19.1%）
営業利益：同173百万円減（▲77.7%）

(2) 第2四半期の業績



【損益状況】 2025年8月期第2四半期

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
第2四半期実績	875 百万円	-15 百万円	-18 百万円	-23 百万円
第2四半期業績予想	1,160 百万円 (業績予想比 -24.6%)	19 百万円 (業績予想から -35百万円)	17 百万円 (業績予想から -36百万円)	2 百万円 (業績予想から -25百万円)
前年同期実績	658 百万円 (前年同期比 +32.8%)	-160 百万円 (前年同期から +144百万円)	-121 百万円 (前年同期から +102百万円)	-197 百万円 (前年同期から +174百万円)

■前年同期実績では増収増益

AsReader事業は日本市場において619百万円（前年同期比24.8%増）、米国市場において99百万円（前年同期比278.3%増）。日本、米国の両市場において前年同期比で増収となりました。

システムインテグレーション事業は145百万円（前年同期比12.7%増）と前年同期比で増収となりました。

この結果、前年同期比で売上高32.8%の増収、営業利益は144百万円の増益。前年同期比では増収増益の結果となりました。

■業績予想数値に対しては減収減益

前年同期比では日本・米国の両市場において増収増益、日本市場は営業利益で黒字での着地となりましたが、米国市場において計画に対して大きく未達。営業利益は赤字での着地となりました。

この結果、2024年10月15日開示の業績予想に対しては売上高284百万円の未達、営業利益35百万円の未達となりました。

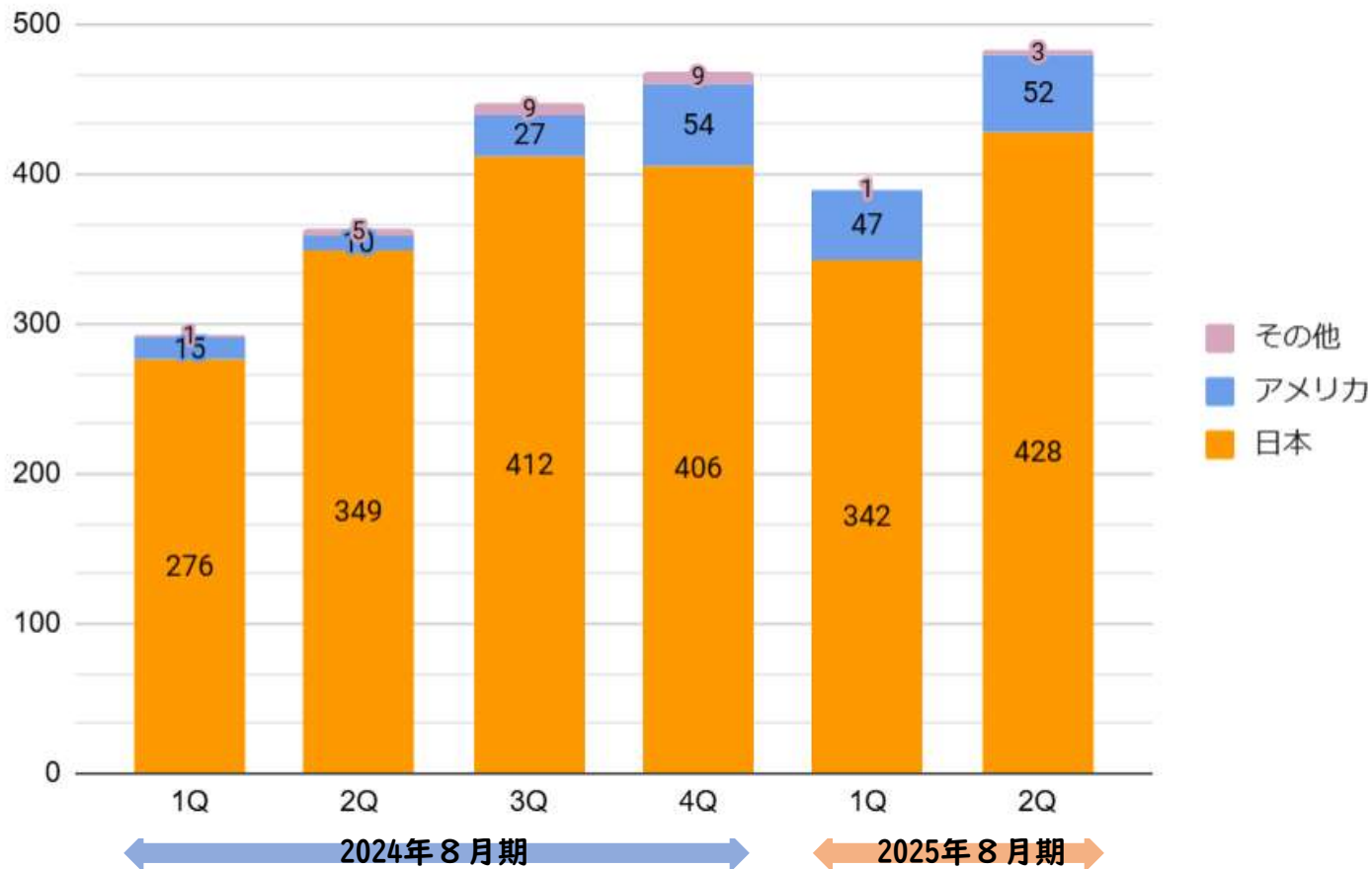
地域別の業績推移 — 売上高 —

■2025年8月期第2四半期累計で875百万円（前年同期比32.8%増収）

日本 770百万円（前年同期比 23.1%増収）

アメリカ 99百万円（前年同期比278.3%増収）

その他 5百万円（前年同期比 17.4%減収）



日本市場においては、黒字化を達成いたしました。この好調の要因として、以下の点が挙げられます。

- ・バーコードのスマートフォン対応化の加速
- ・新型コロナウイルスの影響で停滞していたRFID関連案件の再始動

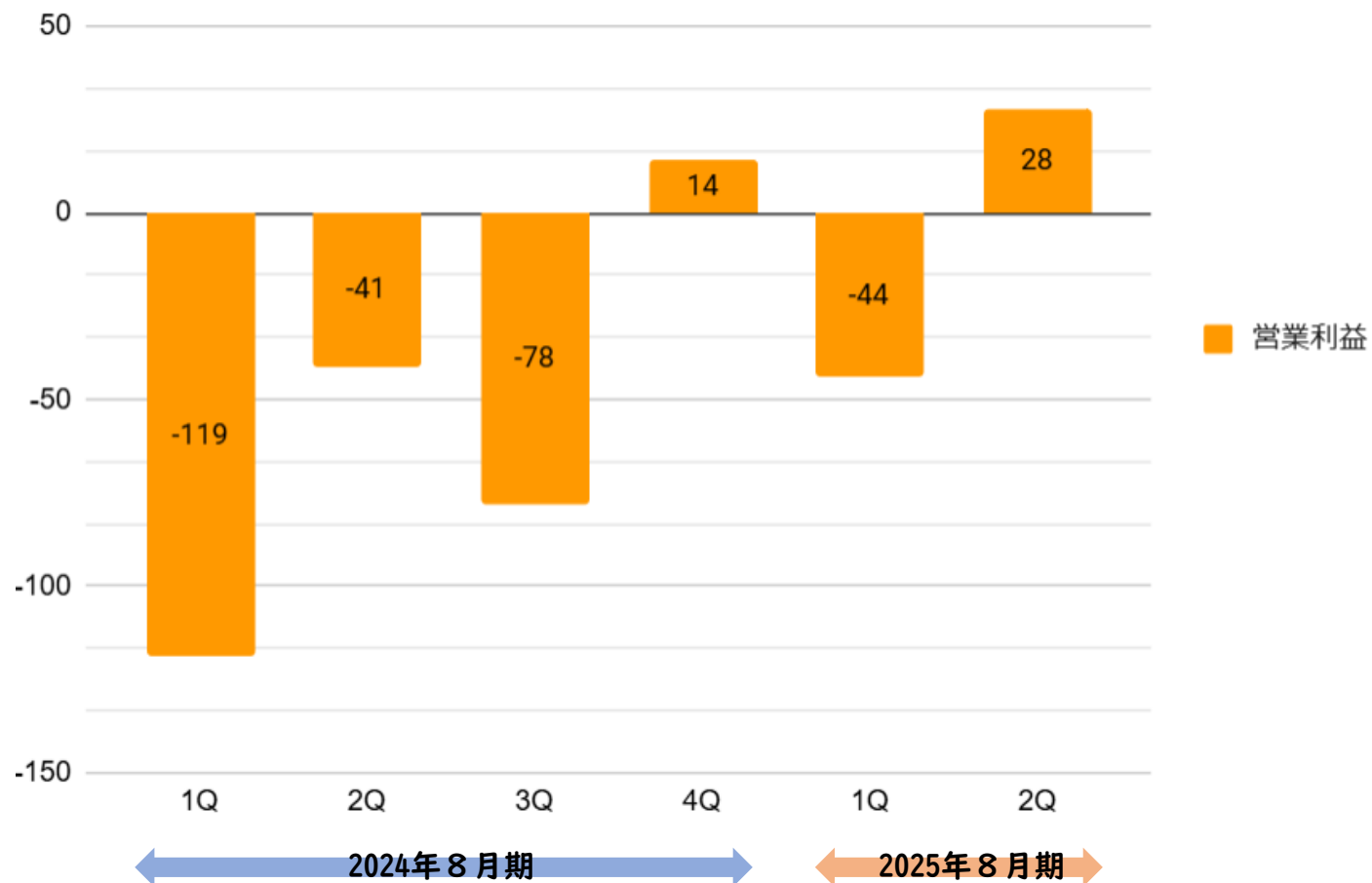
特に、小売流通分野において顕著な成長が見られました。

米国市場においては、当初の計画に対し第2四半期末時点で売上高148百万円の未達が発生しました。この業績の遅れを挽回すべく、営業活動を強化しておりますが、現時点においては回復の見通しが不透明であるため、今回の業績予想を下方修正いたしました。

現在、当社が注力している案件の多くは大規模プロジェクトであり、これらの受注状況が業績に大きな影響を与える可能性があります。今後も市場動向を注視しながら、積極的に対応してまいります。

業績推移 - 営業利益 -

■ 2025年8月期第2四半期累計で▲15百万円（前年同期▲160百万円）
 四半期累計期間では営業損失が続いておりますが、2024年8月期第4四半期会計期間と2025年8月期第2四半期会計期間では営業利益を計上。



■ 売上総利益率

前年同期29.9%に対して40.0%と約10%の改善。前年同期と比較して商品評価損の計上が少なかったことが主な改善要因となります。

■ 販管費

前年同期と比較して8百万円の増加となりました。

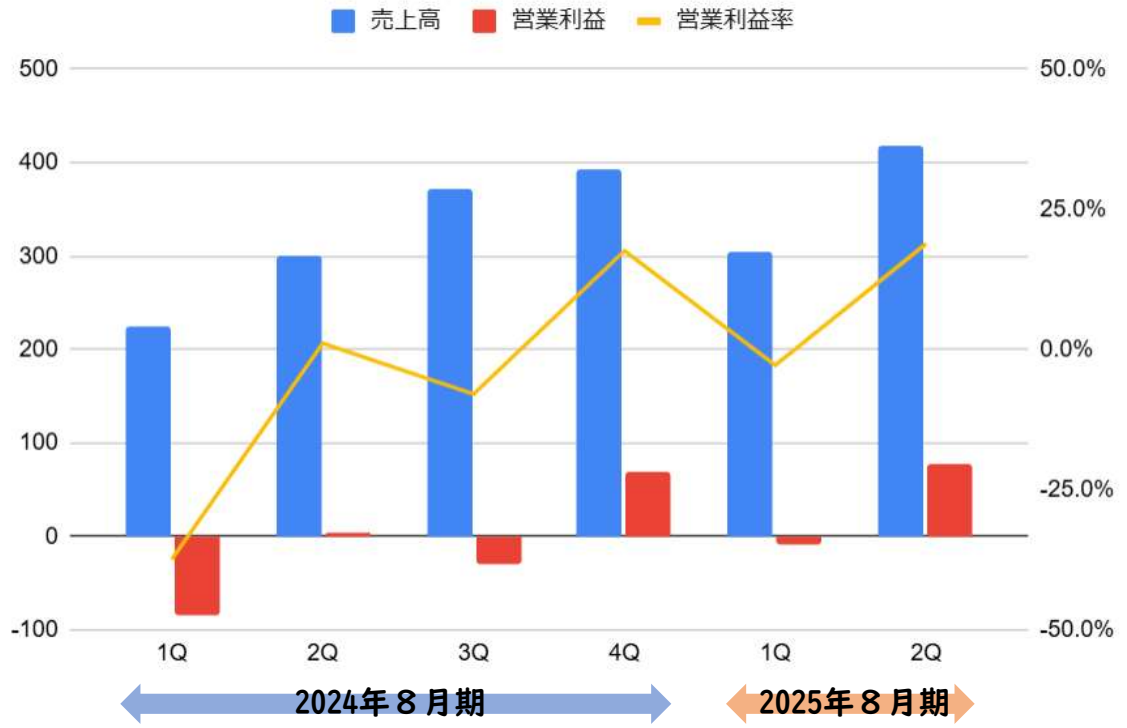
■ 総括

2025年8月期第2四半期累計で営業損失15百万円（前年同期は160百万円の営業損失）と144百万円の改善となりました。

セグメント別の業績推移 - 売上高・セグメント利益 -

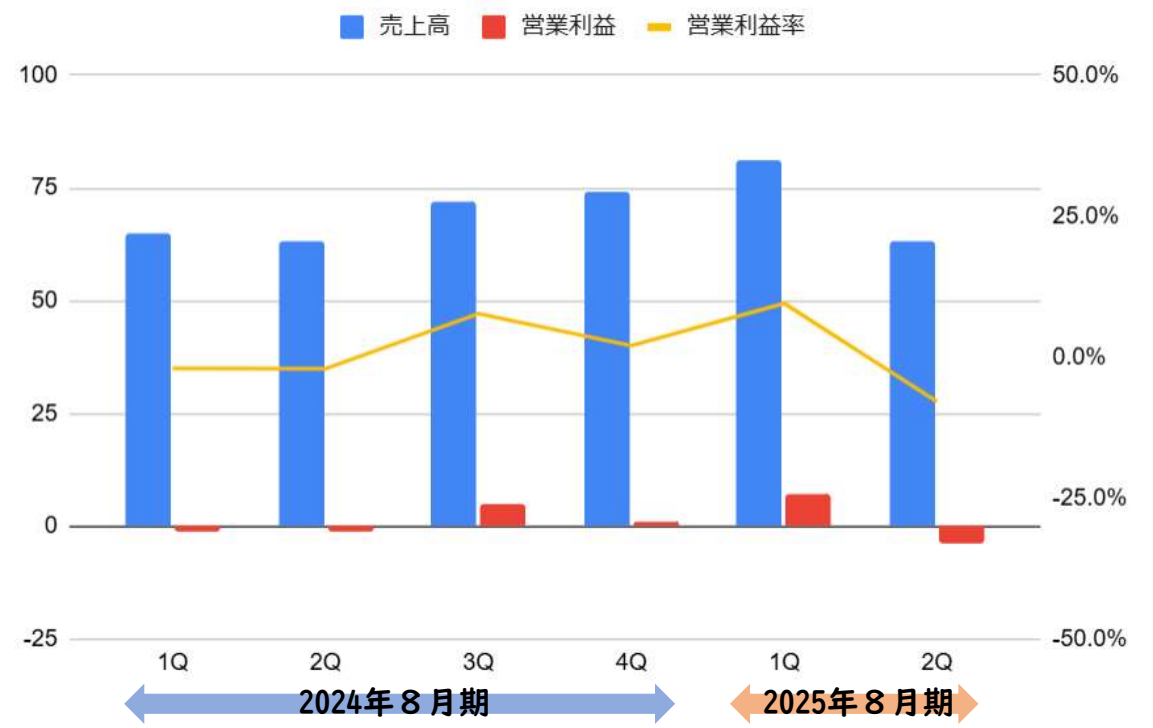
AsReader事業

AsReader事業は、国内向けでは、自動販売機業界、製造業界、卸売・小売業界、医療業界への販売が順調に進捗しました。一方で海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありました。販売が計画より遅延している案件が発生しております。また、顔認証技術をはじめとした新商品開発に関する費用、顔認証レジの実証店舗運営に関する費用は継続して発生しております。以上により、前年同期に比べ売上高は増加、セグメント利益を確保する結果となりました。



システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業は、物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界、IT・通信業界のシステム開発受注がありました。また、前連結会計年度にリリースした期限管理アプリの販売が始まり、当中間期連結会計期間において受注がありました。一方で、一部案件において進捗の遅れの発生、不採算案件に関して受注損失引当金を計上しておりますが、概ね堅調に推移しました。以上により、前年同期に比べ売上高は増加し、セグメント利益を確保する結果となりました。



(3) その他トピックス



EVO FUND様の新株予約権権利行使による資金調達

EVO FUND様に対して2024年9月17日に発行した新株予約権の一部について、2025年1月6日及び2025年1月7日に第5回新株予約権440,000株の権利行使・払込が行われました。

この権利行使・払込により、資本金が121百万円、資本準備金が121百万円増加しております。
2025年2月28日時点における新株予約権の未行使残は以下のとおりです。

	割当先	個数	株式の種類と数	1株当たり 行使価格	発行決議日	権利行使期限
第5回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	3,600個	普通株式 360,000株	550円	2024年8月30日	2027年9月17日
第6回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	2,000個	普通株式 200,000株	700円		
第7回新株予約権	EVO FUND トリプルウィン	1,000個	普通株式 100,000株	1,000円		

※ 第1回～第4回新株予約権は役員及び従業員を割当先としたストック・オプションになります。

※ 2025年2月28日時点の状況になります。

資本業務提携の解消

2025年1月17日付で伊藤忠紙パルプ株式会社(以下、「伊藤忠紙パルプ」)が保有するアスタリスク株式のすべてを売却したことに伴い、伊藤忠紙パルプとの間で締結していた資本業務提携(以下、「本提携」)の継続について協議を重ねた結果、2025年1月31日開催の取締役会において本提携を解消することを決議しました。

なお、本提携を解消した後も商品売買などの取引関係は継続し、これまで築いてきた信頼関係を基盤に、今後も協力を続けてまいります。

第三部： その他企業情報



(1) 業績予想修正



【損益状況】 2025年8月期通期業績予想修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2025年4月14日発表	2,200 百万円	50 百万円	39 百万円	15 百万円
2024年10月15日発表	2,719 百万円	223 百万円	218 百万円	99 百万円
増減額	-519 百万円	-173 百万円	-179 百万円	-84 百万円
	(当初計画比 -19.1%)	(当初計画比 -77.7%)	(当初計画比 -82.2%)	(当初計画比 -85.0%)

■前年同期比では増収増益となったが、当初業績予想数値に対しては減収減益

第2四半期末時点において、前年同期比で日本・米国の両市場で増収増益を達成するなど、業績は回復傾向にあるものの、2024年10月15日発表の通期業績予想値の達成は困難と判断。主に米国市場における当初計画数値からの下方修正（売上高280百万円の減少、営業利益120百万円の悪化の予想）によるものになります。

この業績の遅れを挽回すべく米国子会社への営業フォローを実施するなど、営業活動の強化を行っておりますが、現時点においては回復の見通しが不透明であるため、2024年10月15日発表の業績予想値を下方修正することにいたしました。

現在、当社が注力している案件の多くは大規模プロジェクトであり、これらの受注状況が業績に大きな影響を与える可能性があります。今後も市場動向を注視しながら、積極的に対応してまいります。

■米国政府 相互関税政策について

2025年4月14日現在、米国政府の相互関税政策の実施により、世界経済に大きな影響が及んでおります。当社といたしましても、短期的にはお客様の設備投資の延期や買い控えの動きが見られることから、業績への一定の影響は避けられないものと考えております。

しかしながら、この関税政策は業界全体に及ぶものであり、競合他社も同様の影響を受けることが予想されます。中長期的には、業界全体で競争条件が平準化され、従来の競争環境にもどるものと考えております。当社はこの変化を単なるリスクと捉えるのではなく、業界再編の機会ととらえ、むしろ市場シェア拡大の好機と捉えております。変化に対応した経営判断を行ってまいりますので、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(2) 直近のリリース情報

2025年1月11日 ~ 2025年4月14日 発表分



【展示会出展】全米小売業協会「NRF2025:Retail' S BIG SHOW」に出展

2025年1月12日（日）から14日（火）までの3日間、アメリカ ニューヨーク市で開催された、全米小売協会（National Retail Federation）が主催する年次開催展示会「NRF:RETAIL' S BIG SHOW（以下：NRF）」に、当社グループのアメリカ現地法人であるAsReader, Inc.が出展しました。NRFは、世界最大規模の小売業界に関する年次展示会です。

今年はアスタリスクから代表取締役の鈴木と取締役の中川の2名がアテンドに駆けつけました。



【新製品】大量一気に読みがコンセプトの「AsCode」を正式リリース

新二次元コード「AsCode」を正式にリリースいたします。読み取りの速度を体験いただけるiOS向けのデモンストレーションアプリを公開しました。AppStoreからダウンロード可能です。
また、AsCode生成のための無料ツールを提供するウェブサイトを開発しております。



【新製品】顔認証を活用した「不正入場通報システム」を開発！

顔認証技術と人追跡技術を組み合わせた新しい入場通報システムを開発いたしました。本システムは、顔認証端末AsReader GoMAで人物を特定し、天井につけたカメラで人の動きを追跡することで、不正入場を即座に検知・通知する仕組みを実現しています。



リテールテック2025

最新技術を体験!

顔認証 (AsReader Goma) を活用した「不正入場通報システム」を開発!
その他にもAsCodeなどアスタリスクの最新技術を体験いただけます。

開催日時 3/4(火)~3/7(金) **会場** 東京ビッグサイト

【展示会】NIKKEI MESSE内

「リテールテックJAPAN2025」「SECURITY SHOW2025」に出展いたしました。

2025年3月4日（火）～7日（金）に東京ビッグサイトで開催された「リテールテックJAPAN2025」と「SECURITY SHOW2025」に出展しました。リテールテックJAPANは、流通業のサプライチェーンとマーケティングを進化させる、最新のIT機器・システムを紹介する日本最大の専門展です。

SECURITY SHOWは社会やビジネスの安全・安心を守る国内最大級の展示会でアスタリスクは初出展となりました。



【製品情報】最新モデル「iPhone 16e」に対応！

AsReader ASR-M24Dが、最新モデル「iPhone 16e」に対応！

スマートフォン装着型バーコードリーダー「AsReader（アズリーダー）ASR-M24D」が、Apple社の最新モデル「iPhone 16e」に正式対応したことを発表いたします。

新たに発表された「iPhone 16e」への対応を完了したことで、最新のiOS端末でも安定したパフォーマンスを提供し、従来モデル同様、業務のさらなる効率化・DX推進に貢献します。

※iPhone 15 / 16 / 16e対応ケースは6月発売予定



(3) 導入事例

2025年1月 ~ 2025年4月14日 発表分



【導入事例】 サミット株式会社様

賞味期限管理「Sdc0（エスデコ）」を導入いただきました

「サミットが日本のスーパーマーケットを楽しくする」というビジョンのもと、関東一都三県に123店舗を展開するスーパーマーケット、サミット株式会社。同社は、店舗間及び店舗と本部間の連絡にiPhoneを、Web会議にはiPadを導入するなど、モバイル端末を活用した業務改革に積極的に取り組まれています。

このたび、当社の賞味期限管理ソリューション「Sdc0（エスデコ）」を採用いただき、現場の作業効率向上とヒューマンエラーの削減に取り組まれています。



【導入事例】エアポートトレーディング株式会社様 据え置き型RFIDリーダー「ASR-P3IN」を導入いただきました

那覇空港旅客ターミナルビル内にて、お菓子や食品、泡盛、雑貨など各種お土産物の販売や飲食店を手掛けるエアポートトレーディング株式会社様。空港という厳しいセキュリティ管理が必要な空間ゆえに、従業員の館内への入退場に必要IDパスの管理にも完璧が求められています。

以前からRFIDを活用したパス管理を行っておられましたが、この度、機器の老朽化に伴うリプレイスにあたり、業務の簡素化・省力化を目的に、『館内パス管理システム』に当社のRFID機器をご採用くださいました。



【導入事例】株式会社ラウンドワンジャパン様

棚卸業務の効率化を目的として「AsCamera」をご導入いただきました

株式会社ラウンドワンジャパン様は、全国で「ラウンドワン」を展開する複合エンターテインメント企業です。最先端の設備とサービスを導入し、常に顧客満足度の向上を目指しており、近年では、モバイル端末を活用した業務効率化を推進し、在庫管理やスタッフのオペレーションの最適化を図るなど、よりスムーズで高品質なサービス提供を実現しています。

この度、クレーンゲームの景品棚卸業務に活用するため、スマートフォンのカメラを使った画像認識バーコードリーダー「AsCamera」を全店舗でご導入いただきました。本導入により、従来、紙のリストを見ながら目視で行っていた景品の特定作業が自動化され、作業時間を従来比25%削減しました。さらに、集計データをクラウドで一元管理することで、業務の効率化と精度向上を実現しました。



(4) 直近の展示会出展予定



3. (4) 直近の展示会出展予定

【国内】

■国際モダンホスピタルショウ2025

東京ビッグサイト 西展示棟

2025年7月16日(水)～18日(金)

<https://www.noma-hs.com/>

■国際物流総合展2025

東京ビッグサイト 東展示棟 (野村不動産ブース内)

2025年9月10日(水)～12日(金)

<https://ie.logis-tech-tokyo.gr.jp/>

【海外】

■RFID Journal LIVE!2025 (LAS VEGAS)

2025年5月6日(火)～8日(木)

<https://rfidjournallive.com/>

■NRF 2026 Retail's Big Show (New York)

2026年1月11日(日)～13日(火)

<https://nrfbigshow.nrf.com/>



【お問い合わせに当たってのお願いとご注意事項】

- お問い合わせ内容によってはお答えできない場合もございます。
- 下記①～④に該当するご質問は、IRからの回答を差し控えておりますので、あらかじめご了承ください。
 - ①金融商品取引法第166条「重要事実」に該当する可能性のあるご質問
(株価に関する対策、配当・株主還元に関する内容など)
 - ②非公開情報に関するご質問 (業績動向、将来予測・見通しなど)
 - ③株式市場の値動きに関するご質問 (株価動向、テクニカル分析、売買手口など)
※当社株価の上下変動や当社が非開示の将来的な株価対策などに関し、個別にお答えすることは差し控えております。
 - ④誹謗中傷に該当するメッセージ (いわれのない悪口、根拠のない名誉棄損など)
- 当社からご回答としてお送りするメール (電話での回答含む) は、株主・投資家の皆様からお寄せいただいたお問い合わせなどに回答する目的で、個人宛てにお答えするものです。
その内容の一部または全部を転載、二次利用することはご遠慮ください (SNSや、株式関連サイトの掲示板への書き込みなどもご遠慮ください)。
- 各種アンケート、営業目的 (売り込み目的) のお問い合わせなどにつきましては、お受けできませんのであらかじめご了承ください。

【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I R に関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

【I R お問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

